

刊夕 日五廿月一



定価 一紙五銭 一月五拾五銭 郵費五銭  
 廣告料 五號十二字 第一行金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社



の庭家御 食洋な易簡

平會館 今成鏡一郎

「ロースト」(焙焼肉)

ロース、チキン、ローストビーフ等の類で、鳥獸類の肉を油をかけて天火で蒸し焼きした料理を總稱してロースト、と呼び、洋風献立には一番最後にのせられ、必ずサラダに調理した新鮮な野菜を添わせて供されます。調理法は御家庭では一寸めんどろですが順序だけを簡単に述べて置きます。

「ローストチキン」先づ鶏の極若い(三百匁前後が適宜)を選び、羽根及びむだ毛を抜き去り、頸部を胸の付根から切落し、指を入れて胃袋及び肝臓を取り

ノート 切れ易い 平常着の袖口と裾は初めから二重にして置くと丈夫

出し更に肛門と尾部の間を庖丁にて一寸切開き、腹部を押すやうにして指にて内臓を取り出し、よく水で洗つて水気を拭き取り足を開

節の上より切り落し傷口に露出した骨を胸中へ押込むやうにして、つと押し込みよく形を調べて崩れぬ様に麻か木綿の太目の糸で結き鹽とこせう、を撒りて天板に腹部を上にして、並べ入れ、所々にバターを小さく千切つてのせ、玉葱、人参等をせん切り、かぶせる如く

- 明日の献立
- 【朝】味噌汁、うどん、小付、いんげん豆
  - 【晝】茶碗むし、竹輪、三葉
  - 【晚】さつま揚、おろしわかび、野菜シチュー

にしてはらりと撒りかけて強熱の天火に入れ、時々天板にたまつた焼油をスプーンですくひ肉の上面にかけ乍ら約三十分位焼きます。

「備考」天火の熱度及び焼く時間等は、肉の大小に比例して色々と加減し、また天火の熱が強過ぎ材料が黒く焦げる様な時は、豚の脂肉を薄く切つて、かぶせるか、キアベツの葉等をかぶせて焦げるのを防がねばならぬ事は申す迄もありません。

「ローストビーフ」ローストポーク等の場合は背肉し極上部分等を三百匁から四、五百匁程度の大きさを

に切り、筋及び脂肉等を取除き、形よく麻か木綿糸にて結き、鹽、こせう、を前述の如くにして焼き上げます。其他、小牛、羊、さては小鳥野禽獸類、極めて大くのが、ローストに調理されますが調理法は何れも大同小異です。



私の日

城山生

昨日は あつさりあの子にくれてやつた日よ

明日は 御機嫌よくお天道様が私にくれるかしら それとも悪魔の奴め、私をさらつて行くかしら

今日だけは 私の日よ

踊つてはねやうとぶつて泣かせやうとさ かはい、ビエロ 洗面はつくらないこと 明日にもなればまたあの子にくれてやらねばならぬもの

来會韻

レスタント

臓内外科 泌尿器科 皮膚科

花柳病科 泌尿器科

平町鎌田町

白土外科醫院

病室完備(自炊)

電話二七九

電話395番

貨切の御用命は!

是非セリザワ

タクシーへ!

御願ひ致します

レコード

五十錢均一賣出し

流行歌・浪花節・何んでも揃ふ勉強店

子供レコード

二十五錢均一

平町四丁目(マツモトヤ隣)

メトロレコード店

電話(呼)二一四番

煉炭付火鉢大賣出し

市價二圓六十錢のものを

煉炭 炭十四個(一ヶ五錢)

火鉢 炭十四個(火持二十時間以上)

右全部で一圓七十錢で特賣致します

煉炭専用のストロブも店頭陳列致しましたから御覽下さい。

煉炭付火鉢賣出し始めました處賣行非常に良好な爲め會社より改めて福島縣全部、岩手縣、宮城縣の代理店を命ぜられましたのは皆々様の御引立の賜と深く御禮申します。此後共に御宣傳下さる様重ねて願ひます。

福島縣、宮城縣、岩手縣

代理店 住吉屋セメント店

濱通り特約店

平町 磐崎屋酒店

小野信一郎 電話六六三番

四倉町 昭和産業合資會社 電話十八番

科内

川井内科診療所

川井安子

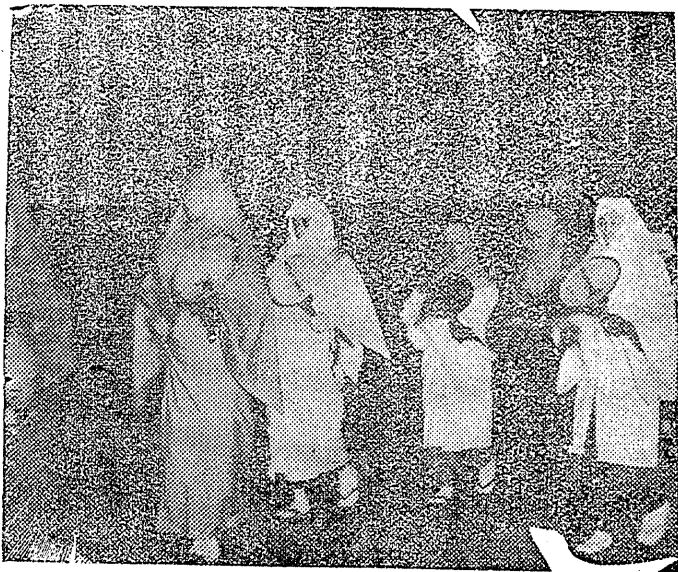
平南町(電話二四三)

陳列致しました 御子様の御祝に是非!

破魔弓と 羽子板を

スガノヤ提灯店

平。四 電九五



團一のり詣寒く行を街の夜

### 銃を片手に

#### 耕作を勵む

滿洲移民團の甲高君  
第二校へ近況を寄す

過般平第二小學校は目下滿洲の野に活躍してゐる本縣移民團に慰問品を送附したが本日移民團の一入である平町久保町出身甲高三郎君より禮狀と共に左の如き近況を寄せたので今二十五日朝會の際津田校長が全校児童に讀み聞かせた

前にも秋田縣の小隊員が作業中若干の上匪に襲はれて残念乍ら一名戦死致しました農業移民とは言へ年中匪賊だそ討伐だ等農耕は少しも進行せず總ての仕事に出掛けるにも銃をばなさず作業に従事してゐる次第です、然し吾々は北滿の人柱となる覚悟で最後の一人まで奮闘致しますから御安心下さい御蔭様で福島小隊は昭和九年度個人人家屋十個完成致しました今年度召致家族十六名ですが皆な元氣で夫と共に努力して居ります

一番匪賊 然し凍期が間横行するので、一寸の油断も出来ず實に緊張した生活をして居ります、一週刊

女の仕事 としては炊

事務 五日連続 既家首 擔して働いて居ります  
番 緬半係等とそれ／＼分 (後略)

### 星一氏の

#### 國家的偉業を

##### 喜ぶ郷黨人が

歸省を機として歓迎會

本郡錦村出身の星一氏は昨秋十月二十五日横濱出帆紐育に於て國産キニーネの輸出に關する商談を大成功裡に完了の後伊太利、佛蘭西、英吉利、獨逸、蘇聯邦、滿洲の各國を歴訪し此程六十六日目で元氣に歸朝され此の國家的事業完成を祖先の墓前に報告する爲め來月六

### お汁粉の御振舞に

#### 小劍士連が頰鼓み

平第一校の寒稽古納會

去る十八日より開始した平第一小學校の剣道部寒稽古納會は來る三十一日午前十時より同校講堂に於て舉行

### 高麗橋を中心として

(55)

#### 眞木翁の懐古事談

##### 奇傑 江政敏 (13)

の看護だ、それは廿五、六七、八年と尙其後迄もつゞいた。世俗の所謂無卦の時代でもあつたのか。此間に在つても江の事業は全くの休止ではなく、東京巡航船株式會社(之は後に俗稱一錢蒸汽に賣却)横濱巡航船株式會社を創立したり、東京高麗橋に和洋紙の販賣店を

### 久之濱の石炭試堀

入山に許可

入山探炭株式會社の出願に係る双葉郡久之濱及び廣野村に跨る七十六萬二千八百坪の石炭試堀願は此程許可された

### 市制調査の方針を確立

#### 職業選定

平町は來る廿六日午後一時より町會議事堂に市制執行常任委員會を開き顧問を決定し調査方針を確立すると共に隣接町村合併問題に就いて協議する

### 職業選定

#### 内郷村の協議

内郷村役場は本日午前九時より同村第一小學校に村内四小學校の卒業生父兄會を開き本年度卒業する兒童の職業指導に關し平職業紹介所の社長會書記を招き兒童の個性に適當した職業の道

### 學級増加

寄附金分擔

町村長協議

石城町村長支會は來る廿八日午前十時から平町會議事堂に臨時評議員會を開き磐女の學級増加に關する寄附

### 検査馬注意

郡内六日から

金の各町村制額を協議す  
行軍豫定通り 平第一小學校は既報の如く今二十五日午前十時半一齊に校門スタート全學年の耐寒行軍を催した

郡下に於ける第二師團の地方馬検査は既記の如く來月六日の四倉町を皮切りに五日間に亘り各町村に於て執行されるが検査に就いての注意左の如くである  
一、馬は裸馬とし髪を束ね藁沓を裝するものは脱す事  
一、蹄及び馬體を清潔にする事  
一、蹴る馬は尾に、咬む馬は髪に夫々印しを附する事  
一、検査官の講話を聴取する事

### 此記事の反響

高麗橋を中心とせる眞木翁の談毎日面白く拜讀致して居ります、維新前後の平藩の全貌が明らかに判り翁の博覽強記、敬服して居ります、郷土の貴重な文獻と信じますが校正の誤りか時々活字の間違ひ等もありますから是等を訂正して一本に纏め御社から出版して載さ度いと思ひます、記載された事實は何れも平町の人々の知つて置きたい事ばかりです、是れも歳月と共に忘れられて仕舞ふ、是非一冊に纏めて載さ度い願ひします (温古新生)

# 線路の上に

## 大の字娘

### 機関手が驚き

#### 急停車して轢殺を免る

明家人に引渡された

昨日午後一時頃平驛を發したより貨物列車が植田町宇石塚地内に差懸つた際線路内に年頃の娘が大の字となつて寝て居るのを發見、機関手は驚いて急停車し幸ふじて轢殺を免れ直ちに植田署に引渡したが此の勇敢な大の字娘は勿來町宇道山の園部シチ(八)といひ多少精神に異状を呈して居る事判

## 参加八校

### 學童剣道に

既報郡下小學兒童剣道大會の出場申込校は平第一、同第三及び草野、豊岡、玉川高久、植田、好間尋校の八校に達し四十名の小剣士は目下猛練習を行つて居る

## 奉公にも出ずに

### 遊んで居る者が

#### 犯罪行爲を冒し易い

#### 検事局の犯罪者調べ

平少年検事局に於ける昨年度中の犯罪者取扱ひ数は合計七十七名で犯罪別は窃盜の六十二名を筆頭に詐欺横領傷害各二名住居侵入贓物收受各二名、失火、賭博各一名、等であるがこれが犯罪者の年齢は十六才から十八才迄が最も多く注目を惹いて居るこれ等の原因を見ると親の無理解、家庭愛の缺乏、家庭教育の不徹底、環境の不遇、生活苦、病氣等々で相當年齢に達し奉公にも行かず家で遊んでゐるものに多いと

札、福豆、御神酒を上げると、會費廿錢、たゞ本年は熱心な此會の主唱者柳下元吉君が幽明處を異にして姿を見せぬのが物淋しい

## カマスの製造

### 鹿島で講習

鹿島農事實行組合は組合員の副業奨励の爲めに麥及び菜種用の吹製法を修得せしめる爲め近く茨城縣より講師三名を招き大字毎に講習會を開く計劃を進めて居るが本年度から郡下の検査

## 土仕事を嫌ふ

### 百姓娘の憧れ

#### レビニュー團に走る

#### 父親が心配

好間村字二子澤農大友由藏二女クラ(三)さんは先頃同村で興業したレビニュー團の一行に憧れを感じ父親に無断でレビニューガールを志願したが拒絶され其後は百姓

## 制服に前垂れ掛け

### 平商生の初賣り商店實習

平商は今年も来る二月五日の舊正月二日の初賣り實習の爲め高學年生を市内各商店に手傳はせる事になり目下各商店よりの求めに應じてゐるが申込み多数にあり不足を告げる模様だから希望商店は成るべく早く同校宛に申込みたいと

## 福引の當籤者

吳服商舊賣出しの福引當

明日のラジオ

廿六日

今晩も明日も北西の風晴曇半す

## 今晚の部

後六、三〇 兒童劇「影池」  
 醇光子供サークル  
 後七、三〇 講演 津田信吾  
 後八、〇〇 ビデオと管絃樂(桃谷演奏所中繼)  
 後八、三〇 歌澤  
 後九、〇〇 義太夫 竹本大隅太夫  
 後九、三〇 時報ニュース

## 公判廷で 窃盜罪否認

### 浪江の森林事件

既報双葉郡浪江町大字権現堂字鳥喰山田金之助(五)に係る森林窃盜事件の公判は昨日午後二時半から平區裁判所で香西判事係り白水檢察立會松野尾辯護士列席の下に開廷されたが被告は「仙臺の土木請負業者である告訴人山家爲之助から材木の伐り出しを委嘱されたが山家は賃金を一文も支拂はず人夫からは騒がれ道路監視人からは縣道から木材の撤去方を迫られ背に腹はかへられ遂に賣り拂つたもので決して窃盜したのではない」と陳述、来る二十九日に續行公判を開き證人として山家の篠木平馬及び人夫頭篠木眞雨氏の訊問を行ふ由

## 平職業紹介所報告

求人を求める方

△農夫 三十迄 年給八十圓位

△女中 二十迄 尋卒 月五圓

△農夫兼女中 二十以下

## 明日の

氣象通報 番組豫告

前七、〇一 基礎獨語講座

(六) 三浦吉兵衛

前七、三〇 聖典講義「心地觀經報恩品抄」(六)

文學博士 福島政雄

前八、〇〇 婦人の時局

「和服の厚着を容よく着こなすには」早見君子

後八、三〇 吹奏樂 海軍

無學 年給五六圓

△雜夫 二十位 委細面談

△賣子 二十才 高一修

△出前持 廿二才 尋五修

△雜役 廿八才 公民校卒

△給仕 十四才 高一修

以上いづれも給料面談

平町人事

△出 生

△研町一 當時北海道室蘭市小橋内町佐々木榮一氏長女京子

△研町一 當時室蘭市小橋

## 看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

## 福は内會

### 二月四日(舊正月元日)

午後一時修祓、一時半家内安全祈禱

二時豆蒔執行、二時半世話人祈禱札

並に福豆を分配す。

△會費二拾錢 御祈禱禮大：一圓 小：五十錢

△年男御希望の方は金五圓納付の事 大祈禱札、福豆、福餅、紅白餅、記念盆並に本(購付)

◎會員には家内安全祈禱の御禮及福マメ御神酒を差上ます、尙十人一組の割合にて一組の内へ金体大黒天一個を授く

平町紺屋町

事務所 扇屋旅館内

電話一六五番



# 明治太平記

(無断複製 上映及上演)

(作) 寺島征史  
(畫) 野口 運

## 第三十八回

### 大官と野人(十)

「さア、とにかく座敷へ通らつしやい。吾輩、ただいま大切な客を招んで、政治を取引してをる。それが済んだら、ゆつくりおぬしと語らう」

さういつたまゝ大隈は、さつさと離座敷の方へ引かへした。

「それみみたことか、女將將來この濱の家にとつて大切な客ぢや、第一等の座敷へ案内しろといふたぢやないか。さア、第一等の座敷はどこでござす」

「棒じまシャツは立上つたおまへさん、随分向ふみすなのねえ、いまの紳士をどなただとおもつて？」

女將は呆れて、いまは苦しい顔さへ出来なかつた。

「さア、いづれは官員さんだらう」

「勿體なくも、おまへさん民部大輔兼大藏大輔……」

「大隈の閣下なんだよ」

女將は、いよゝ呆れた「さうぢやないか、圖らずもけう民部大輔兼大藏大輔の大隈閣下を手に入れたからさ……さア芳三郎さん、座敷へいつて、うんと飲むべし、遠慮しなさんなよ」



「錯のある、しかもみせさきいつばいに響きわたる聲だ。女中が、いそ／＼と出てみると、これはまた、いまのさつきの田舎ツペイに輪をかけたやうな、むさくるしい身振り、木綿素袷に白金巾、頭兵児帯をぐるぐる巻きにしての旗本上りの大志賀市之丞だ。かむつてゐる手拭を脱ると、まだいくらのびてゐないさんばら髪だつた。

「さア」といつたさき、きれいな女中は魚のやうにそのまゝへり遊ばしたばつかりでございませぬ」

「黙れ！、おれはいま、大隈の邸からきいてまゐつたのぢや。英國公使パークスとふたり離ざしきで校書の酌で酒に喰ひ酔つてをるのぢやらう、案内せい」

「ほんとうに、あのう……」

「こやつ、まだ四の五の吐かしをるか。ようし、案内はいらぬ、踏み込んでやらう」

冷飯草履のまゝ上らうとするのを、女中はせいいつばいに抑へた。

「ど、どうぞ、奥へお傳へして参りますから、どうぞお鎮まりくださいまし」

「さうか、大隈のところへ申して参るか、ようし……」

「はア」

田舎男は、拭き清められた廊下を大股に歩いていつた。

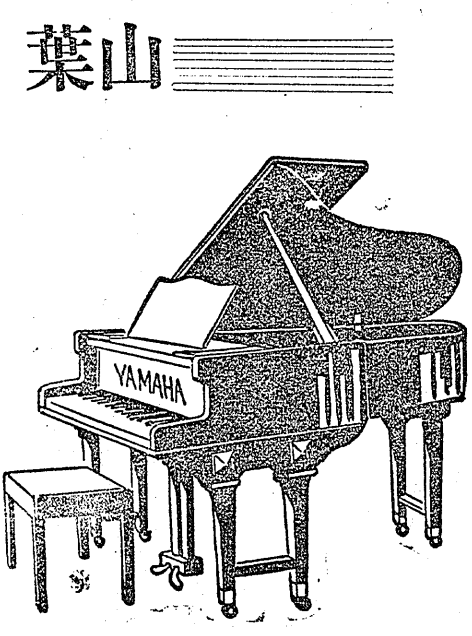
奥の方へ姿を隠さうとした「こりや」「はア」「これへ、大隈民部大輔殿が参つてをるであらうの」「はい、はいえ」「それへ案内いたせ」「いゝえ、さう、大隈の御前なら、いましてがたおか

# 市原産 市原干物 魚問屋

店理代平命生本日本大最優最 榮盛賀志 (三一二電)目丁四平

## 市原醫院

平町 田町 電話一四四番



## 葉山

め爲の化衆大 拂割分 有法便  
ピアノ 五〇〇圓以上  
オルガン 廿七圓以上

### 地方特約店

忠角 佐々木商店 電話二三三番

小児科	院長 石山謙一郎
婦人科	部長 賀一忠
皮膚泌尿器科	部長 五十嵐雄二
耳鼻咽喉科	部長 町久藏
花柳病科	部長 澤正
X光線科	部長 山謙郎
衛生試験局	局長 山謙郎
外科	部長 山謙郎
内科	部長 山謙郎
獣医科	部長 山謙郎
藥劑科	部長 山謙郎
事務科	部長 山謙郎

## 内科 外科 一般

## 金成醫院

平鎌田町(電三五八)